

東日本大震災——15年（上）

市民生活はどう変わった？



東日本大震災の発生から十五年。地震、津波、原発事故——。世界に類を見ない複合災害は、いわき市にも多大な爪痕を残した。市内では復旧・復興事業も進み、落ち着きを取り戻してきたが、振り返ると、この大震災がもたらしたものは果たして何だったか。本誌三、四月号では一回に分け、市民生活上における「変化・変容」を垣間見る。

二〇一六年、いわき市内で開かれた「ふるさとの記憶ふくしま特別展」東日本大震災で失われた「記憶の街」が模型で復元され、来場者が往時を懐かしんだ